

講義コード	11C0135300	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員		開講期																	
科目名	特別講座3<日経で学ぶ実践的な経済学2>					経済学部		第2期																	
履修前提条件						備考																			
授業の目的	この講義は、日本経済新聞社と本学部の教員とのコラボレーションで実施する。学部での講義と現実経済の流れをリンクさせ、生きた経済とその学び方を知ることが目的としている。まず、学生は、財政、金融、産業、国際経済、人口・雇用の各テーマについて、日本経済新聞社の記者による新聞記事の解説を聴く。その上で、学部教員によるオムニバス講義を通じて、各テーマに関連する現実の経済問題と経済学の理論の関連性について学ぶ。特に、本講義では、日経電子版に触れて新聞を読む習慣を身に付けることで、大学の学びのみならず就職活動にも活用してもらおうことを目指す。																								
到達目標	新聞などに書かれている記事を読む習慣が付き、その内容を経済学的視点から理解できること。																								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業に先立ち、毎日の新聞記事をダウンロードして読んでおくこと。また、分からない内容があれば、調べておくこと。毎日40分くらいを使うこと（1週間で280分、15週で70時間）。																								
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>【第1回】 ガイダンス・日経の読み方（基礎編）</td> <td>【第9回】 テーマ3：産業（王）</td> </tr> <tr> <td>【第2回】 日経の読み方（実践編）</td> <td>【第10回】 テーマ4：国際経済（日本経済新聞社講師）</td> </tr> <tr> <td>【第3回】 テーマ1：マクロ経済とGDP統計（日本経済新聞社講師）</td> <td>【第11回】 テーマ4：国際経済（河原）</td> </tr> <tr> <td>【第4回】 テーマ1：SNAのしくみ（宮川）</td> <td>【第12回】 テーマ5：日経電子版を使った演習2</td> </tr> <tr> <td>【第5回】 テーマ2：財政（日本経済新聞社講師）</td> <td>【第13回】 テーマ5：働き方・雇用（日本経済新聞社講師）</td> </tr> <tr> <td>【第6回】 テーマ2：財政（藤岡）</td> <td>【第14回】 テーマ5：雇用問題（山口）</td> </tr> <tr> <td>【第7回】 日経電子版を使った演習1</td> <td>【第15回】 まとめ</td> </tr> <tr> <td>【第8回】 テーマ3：産業（日本経済新聞社講師）</td> <td></td> </tr> </table>									【第1回】 ガイダンス・日経の読み方（基礎編）	【第9回】 テーマ3：産業（王）	【第2回】 日経の読み方（実践編）	【第10回】 テーマ4：国際経済（日本経済新聞社講師）	【第3回】 テーマ1：マクロ経済とGDP統計（日本経済新聞社講師）	【第11回】 テーマ4：国際経済（河原）	【第4回】 テーマ1：SNAのしくみ（宮川）	【第12回】 テーマ5：日経電子版を使った演習2	【第5回】 テーマ2：財政（日本経済新聞社講師）	【第13回】 テーマ5：働き方・雇用（日本経済新聞社講師）	【第6回】 テーマ2：財政（藤岡）	【第14回】 テーマ5：雇用問題（山口）	【第7回】 日経電子版を使った演習1	【第15回】 まとめ	【第8回】 テーマ3：産業（日本経済新聞社講師）	
【第1回】 ガイダンス・日経の読み方（基礎編）	【第9回】 テーマ3：産業（王）																								
【第2回】 日経の読み方（実践編）	【第10回】 テーマ4：国際経済（日本経済新聞社講師）																								
【第3回】 テーマ1：マクロ経済とGDP統計（日本経済新聞社講師）	【第11回】 テーマ4：国際経済（河原）																								
【第4回】 テーマ1：SNAのしくみ（宮川）	【第12回】 テーマ5：日経電子版を使った演習2																								
【第5回】 テーマ2：財政（日本経済新聞社講師）	【第13回】 テーマ5：働き方・雇用（日本経済新聞社講師）																								
【第6回】 テーマ2：財政（藤岡）	【第14回】 テーマ5：雇用問題（山口）																								
【第7回】 日経電子版を使った演習1	【第15回】 まとめ																								
【第8回】 テーマ3：産業（日本経済新聞社講師）																									
成績評価の方法	レポート課題および平常点により成績を評価する。																								
フィードバックの内容																									
教科書																									
指定図書	『日経新聞の数字がわかる本』小宮一慶（日経BP社）2009年																								
参考書	『日本経済新聞の読み方2011-2012年版』日本経済新聞出版社（編）（日本経済新聞出版社）2011年、『日経新聞の「本当の読み方」がわかる本』小宮一慶（日経BP社）2010年、『Q&A 日本経済の基本100 2014年版』日本経済新聞社（日本経済新聞社（編））2013年、『池上彰のやさしい経済学1 しくみがわかる』池上彰（日本経済新聞出版社）2013年、『池上彰のやさしい経済学2 ニュースがわかる』池上彰（日本経済新聞出版社）2013年																								
教員からのお知らせ	本講義の受講生には、ポータルサイトで授業までにダウンロードしておく内容などを連絡するので、講義前には、連絡が無いか確認して授業に臨むこと。																								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付ける。																								
その他	出席が少ないなど授業意欲が認められない者には、単位を与えない。																								